
MISTECT 導入の医療施設が 10 箇所に ——全国 70 箇所で MISTECT が活躍中——

インフォリーフ株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役：古瀬幸広）は、2020年9月から販売およびサービスを開始したサーフェスコントロールシステム・MISTECTの医療施設への導入が、10箇所に達したことを発表しました。10箇所の内訳は、岩手県（1）／東京都（2）／埼玉県（2）／愛知県（5）となります（括弧内は導入施設数。出張コーティングサービスを含む）。この中には、新型コロナウイルス感染症の陽性患者が受診したことが判明したため、即時導入したクリニックもあります（二次感染被害は出ていません）。



MISTECT について

MISTECT はヒトに対して安全な植物由来の抗菌剤「GSE」(Grapefruit Seed Extract) を薬剤として使い、その水溶液を 7 ミクロンの超微粒子にして空間放出することで、室内の露出表面に GSE をコーティングする表面除菌システムです。特長は効果に持続性があること、そして広範囲の床にも抗菌コーティングできることです。感染者が吐出する飛沫は、その大半が床に落ちます。MISTECT は床で待ち受けてウイルスを抑制することで、感染リスクを小さくします。食品添加物成分ですので、飲食店で使用することも可能です。GSE の中身は複数の植物フラボノイドであり、ヒトに安全な抗酸化物質で構成されています。

MISTECT の実績について

MISTECT は医療施設のほか、保育施設、音楽教室、ダンススタジオ、寺院、店舗、オフィス、レンタルオフィス、カフェ、工場など全国 70 箇所以上に導入されており、いずれでもクラスターの発生は起きていません。

なかでも、2020 年秋に導入した首都圏の保育施設（100 人以上が通う大規模保育園）からは「導入後、ウイルス性の病気に感染した園児はゼロ」との報告を受けています。

ただし、前述のクリニックも含め、この実績は単なる事例であって、MISTECT の効果を科学的に証明するものではないことにご注意ください。また、この春から日本に上陸している新型コロナウイルスの変異株は感染力が強く、マスクなしで会話したり、互いにマスクをしていても、近い距離で話しこんだりすると、感染することが知られています。

MISTECT を導入したとしても、三密を避ける、食事中も話すならマスクをする、換気を頻繁に行うなどの感染防止策が重要です。MISTECT は空間除菌システムではなく、室内の床を中心とした露出表面のウイルスを抑制することで、思わぬ感染リスクを小さくし、消毒にかかる膨大な人的コストを削減するのに貢献するシステムです。



MISTECT の情報ページ
<https://mistect.jp/>

MISTECT™に関するお問い合わせ先
インフォリーフ株式会社 MISTECT ウェブ問い合わせ窓口
<https://mistect.jp/2020/howtocontactus/>

